

2045年、感染症のない未来へ — すべての子どもの健康を守る、多国間協力の力 —

2026年10月5日(月) 18:00—19:30
四谷キャンパス 2号館17階 国際会議場

ゲイツ財団が感染症撲滅の目標年に掲げる2045年に向け、感染症、母子保健、子どもの緊急栄養をめぐる課題を考えます。

本セミナーでは、ゲイツ財団、UNICEF、上智大学の専門家が政策、緊急支援、国際機関間連携、看護教育・国際共修の実践を結びつけ、多国間協力の重要性と、日本や若者が果たす役割を議論します。

言語：英語/日本語 同時通訳あり*

通訳音声はZoom視聴時に限り利用できます。通信に係る通信料、機材等費用はすべて参加者のご負担となります。会場でスマートフォン等からZoom音声を聞く場合は必ずイヤフォンを持参してください。

開会挨拶



飯島 真里子
上智大学
グローバル化推進担当副学長

基調講演



柏倉 美保子
ゲイツ財団日本常駐代表

プレゼンテーション



Saul Guerrero Oteyza
国連児童基金 (UNICEF)
アジア太平洋地域
東京事務所代表



吉野 八重
上智大学総合人間科学部
准教授



近藤 哲生
上智大学グローバル教育センター
特任教授
上智大学国際協力人材育成
センター (SHRIC) 所長

パネルディスカッション・質疑応答



コーディネーター：平井 光城
Professionals For Impact, Inc. 代表 /
ゲイツ財団コンサルタント

無料・要申込



Zoom

対面



統括・閉会挨拶 平井 光城 近藤 哲生